

糖尿病内分泌内科

糖尿病内分泌内科は「糖尿病およびあらゆる内分泌疾患を、総合的なチーム医療によって診療し、合併症の発症・進行を防ぐこと」をモットーに診療を行っている。糖尿病診療では病態の精査、合併症の評価、適切な治療方針の決定、メディカルスタッフ皆が参加するチームでおこなう療養指導・患者教育とともに、とくに病診連携に力を入れている。内分泌疾患では迅速・的確な精査と治療をもとに、できる限り紹介元かかりつけ医療機関とともにフォローする診療を目指している。内分泌疾患や糖尿病合併症の診療には、専門各診療科との協力が不可欠である。当院には高度な専門性を有する診療科が揃っており、その強い力と連携して、精査・診断と治療から近隣医療機関と協力したフォローまで、完結した医療が提供できるよう努めている。スタッフは河崎祐貴子医師、岡村絵美医師が年度末に転任し、平成 29 年度より岩崎順博医師、岩崎可南子医師が着任している。研究においても多様で豊富な臨床経験を活かした、診療にも直結しやすいかつ独創的な見地を目指した取り組みを続けている。

体制

濱崎暁洋（はまさき あきひろ） 主任部長
専門：糖尿病・内分泌疾患

本庶祥子（ほんじょ さちこ） 副部長（栄養部部长）
専門：糖尿病・内分泌疾患

阿部 恵（あべ めぐみ） 副部長
専門：糖尿病・内分泌疾患

河崎祐貴子（かわさき ゆきこ） 副部長
専門：糖尿病・内分泌疾患
（平成 29 年 2 月転任）

岩崎順博（いわさき よりひろ） 副部長
専門：糖尿病・内分泌疾患
（平成 29 年 4 月着任）

岩崎可南子（いわさき かなこ） 医師
専門：糖尿病・内分泌疾患
（平成 29 年 4 月着任）

岡村絵美（おかむら えみ） レジデント
専門：糖尿病・内分泌疾患
（平成 29 年 3 月転任）

診療実績

	年間入院患者数
糖尿病	284
下垂体疾患	48
副腎疾患	45
甲状腺・副甲状腺疾患およびその他	14

(延外来患者数 22,580人 延入院患者数 3,702人)

研究課題

- 1 糖尿病患者における膵癌発生の前向き観察研究（消化器センターとの共同研究）
- 2 原発性アルドステロン症の治療経過における心血管・臓器障害の進行と種々プロファールの関連探索研究
- 3 抗GAD抗体陽性患者の経時的インスリン分泌能の変化に関する検討
- 4 妊娠時耐糖能異常症例に対する介入効果の研究
- 5 糖尿病入院患者の運動状況と心理・社会背景とのかかわりに関する研究
- 6 高齢者糖尿病患者におけるサルコペニアの評価と介入に関する研究
- 7 糖尿病患者の血糖値変動に対する甲状腺機能と関連因子の関連の研究
- 8 肥満と糖尿病状態における betatrophin/ANGPTL8、serpinB1、および Asprosin の意義の検討
- 9 糖尿病患者の水痘ウイルス免疫に関する研究（感染症科と共同研究）
- 10 糖尿病患者への心理的アプローチに関する研究
- 11 下垂体腫瘍の臨床経過と発現ホルモンとの関連解析の研究
- 12 医療データを用いた、内分泌代謝疾患の治療解析に関する研究（京都大学との共同研究）
- 13 グルカゴンの糖代謝への影響とその分泌修飾における腸管因子の役割の解明
- 14 腸内環境と内分泌・代謝修飾連関の解明に関する研究（科学研究費助成事業 課題研究）

学会発表

- 1 Tokumoto S, Hamamoto Y, Yamaguchi E, Okamura E, Honjo S, Hamasaki A Plasma serpinB1 levels are strongly correlated with circulating levels of ANGPTL8 in patients with type 2 diabetes American Diabetes Association 76th scientific sessions Jun. 10-14, 2016 (New Orleans)
- 2 Tokumoto S, Hamasaki A, Okamura E, Kawasaki Y, Honjo S, Hamamoto Y Plasma serpinB1 levels are strongly correlated with circulating ANGPTL8 levels in patient with type 2 diabetes. 11th IDF-WPR CONGRESS | 8th AASD Scientific Meeting Oct. 27-30, 2016 (Taipei)
- 3 Wada Y, Hamamoto Y, Honjo S, Kawasaki Y, Okamura E, Fujikawa J, Hamasaki A Identical hypoglycemic effect of teneligliptin with linagliptin in type 2 diabetes with chronic kidney disease. 11th IDF-WPR CONGRESS | 8th AASD Scientific Meeting Oct. 27-30, 2016 (Taipei)
- 4 Hamasaki A, Sugiyama Y, Okamoto K, Khotimat PH, Sawano R, Yoshikawa M, Kuroda T, Inagaki N Long-term effectiveness of sulfonylureas in type 2 diabetes. 11th IDF-WPR CONGRESS | 8th AASD Scientific Meeting Oct. 27-30, 2016 (Taipei)
- 5 Kothimah PH, Sugiyama Y, Yoshokawa M, Hamasaki A, Okamoto K, Kuroda T Revealing oral medication patterns from reconstructed long-term medication history of type 2 diabetes 38th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society Aug. 16-20, 2016 (Orlando)
- 6 Kothimah PH, Yoshokawa M, Hamasaki A, Sugiyama O, Okamoto K, Kuroda T Comparing Frequent Patterns: A Study Case of Apriori and Singleton Implementations in a Diabetes Type 2 Data set The 2016 International Conference on Computer, Control, Informatics and its Applications (IC3INA 2016) Oct. 3-5, 2016 (Jakarta)
- 7 徳本信介、本庶祥子、岡村絵美、河崎祐貴子、濱崎暁洋 腎腫瘍と頸部腫瘍を合併した褐色細胞腫の1例 第88回日本内分泌学会学術総会 2016/4/21-23 (京都)
- 8 濱崎暁洋、藤本寛太、岡村絵美、徳本信介、山口恵理子、河崎祐貴子、本庶祥子 2型糖尿病治療における甲状腺機能と血糖値変動の関連の検討 第88回日本内分泌学会学術総会 2016/4/21-23 (京都)
- 9 岡村絵美、本庶祥子、河崎祐貴子、徳本信介、池田弘毅、和田良春、藤川潤、濱崎暁洋 過去の最大体重とインスリン分泌能の関係 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 2016/5/19-21 (京都)
- 10 角田晃啓、澤田優子、金尾頭郎、本田憲胤、本庶祥子、濱崎暁洋 糖尿病教育入院患者における運動状況、心理状態、社会との関わりの実態 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 2016/5/19-21 (京都)
- 11 池上由利子、本庶祥子、河崎祐貴子、伊藤俊和、宇野文菜、尾上雅英、濱崎暁洋 SGLT2 阻害薬使用患者についての現状調査 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 2016/5/19-21 (京都)
- 12 山内亜耶、中山法子、博多恵美、神代英子、安藤ますみ、古河てまり、村瀬史子、河崎祐貴子、本庶祥子、濱崎暁洋 妊娠糖尿病への療養指導の効果 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 2016/5/19-21 (京都)
- 13 河崎祐貴子、本庶祥子、藤本寛太、徳本信介、岡村絵美、和田良春、綾野志保、池田弘毅、濱崎暁洋 2型糖尿病治療における甲状腺機能と血糖値変動の関連の検討 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 2016/5/19-21 (京都)
- 14 和田良春、浜本芳之、本庶祥子、河崎祐貴子、徳本信介、岡村絵美、綾野志保、池田弘毅、濱崎暁洋 SGLT-2 阻害薬隔日投与の有効性の検討 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 2016/5/19-21 (京都)

- 1 5 Husnul Kohtimah Purnomo、濱崎暁洋、岡本和也、杉山祐一、稲垣暢也、黒田知宏、吉川正俊 経口血糖降下薬の長期投薬傾向分析システムの構築について 第 59 回日本糖尿病学会年次学術集会 2016/5/19-21 (京都)
- 1 6 本庶祥子、河崎祐貴子、岡村絵美、徳本信介、角田晃啓、池田弘毅、和田良春、濱崎暁洋 サルコペニア合併の 2 型糖尿病入院患者の臨床的特徴 第 59 回日本糖尿病学会年次学術集会 2016/5/19-21 (京都)
- 1 7 三輪花蓮、福田美由紀、岡村絵美、本庶祥子、濱崎暁洋 糖尿病教育入院における「昼食会」の取り組み～体験型の教室を通して得られる気づき～ 第 4 回日本糖尿病療養指導学術集会 2016/7/23-24 (京都)
- 1 8 濱崎暁洋、本庶祥子、阿部 恵、河崎祐貴子、岡村絵美、和田良春、綾野志保、池田弘毅 2 型糖尿病に合併する肥満の長期経過 第 37 回日本肥満学会学実集会 2016/10/7-8 (東京)
- 1 9 山形 昂、本庶祥子、岡村絵美、阿部 恵、濱崎暁洋 発端者として精査中に異なる表現型の家族歴が判明した MEN1 の一例 第 17 回日本内分泌学会近畿支部学術集会 2016/10/15 (和歌山)
- 2 0 岡村絵美、河崎祐貴子、本庶祥子、阿部 恵、和田良春、池田弘毅、濱崎暁洋 糖尿病の経過中に POEMS 症候群と診断し、治療によりインスリン離脱が可能となった一例 第 53 回日本糖尿病学会近畿地方会 2016/11/12 (大阪)
- 2 1 深谷健二、岡村絵美、徳本信介、本庶祥子、阿部 恵、濱崎暁洋 治療自己中断により二度目の粘液水腫性昏睡に陥った橋本病の一例 第 26 回臨床内分泌代謝 Update 2016/11/18-19 (大宮)
- 2 2 本庶祥子、角田晃啓、岡村絵美、阿部 恵、河崎祐貴子、内海繁敏、井上裕子、久保万友子、山田信子、永原 守、金田恵美、福田美由紀、山内利香、三輪花蓮、名倉成美、濱崎暁洋 サルコペニア合併の 2 型糖尿病入院患者の臨床的特徴と 1 年後の変化 第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会 2017/1/13-15 (京都)
- 2 3 角田晃啓、本庶祥子、岡村絵美、阿部 恵、濱崎暁洋 2 型糖尿病患者の基礎代謝についての検討 第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会 2016/1/13-15 (京都)
- 2 4 濱崎暁洋、本庶祥子、阿部 恵、河崎祐貴子、岡村絵美、和田良春、綾野志保、池田弘毅 糖尿病患者の長期体重経過からみる食事療法の考察 第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会 2016/9/11-12 (京都)
- 2 5 加田 昇、吉川正俊、森田祐司、濱崎暁洋、岡本和也、黒田知宏、杉山 治 甲状腺疾患の薬物療法における臨床判断支援システムの設計 関西データベースワークショップ 2016 2016/9/11-12 (神戸)
- 2 6 森田祐司、吉川正俊、濱崎暁洋、杉山 治、岡本和也、黒田知宏 投薬歴の構築と医師の多様性を考慮した投薬パターンマイニング 第 9 回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2017) 2017/3/6-8 (高山)
- 2 7 岡村絵美、本庶祥子、徳本信介、深谷健二、阿部 恵、河崎祐貴子、濱崎暁洋 治療自己中断により二度目の粘液水腫性昏睡に陥った橋本病の一例 第 91 回京都内分泌同好会 2016/10/1 (京都)
- 2 8 濱崎暁洋 様々な背景にあわせた製剤選択の試み 第 25 回北野 B. B. DM フォーラム 2016/5/14 (大阪)
- 2 9 岡村絵美 若年で脳梗塞を発症した高リポ蛋白 (a) (Lp (a)) 血症の 1 例 第 19 回北野動脈硬化症セミナー 2016/6/2 (大阪)
- 3 0 本庶祥子 原発性アルドステロン症のスクリーニングと診断 ～当院の成績から～ 第 28 回北野糖尿病・内分泌倶楽部 2016/6/23 (大阪)
- 3 1 濱崎暁洋 グルカゴンからみた食後血糖の上昇脂質・糖代謝異常と心血管疾患 2016/7/7 (京都)
- 3 2 本庶祥子 糖尿病腎症 (連携) パスについて 第 24 回北野糖尿病合併症と医療

- 連携の会 2016/9/10 (大阪)
- 3 3 濱崎暁洋 甲状腺腫瘍の可能性を指摘されたときに 北野市民医療講座
2016/10/22 (大阪)
- 3 4 本庶祥子 糖尿病と健口生活 第 21 回大阪歯科保健大会府民公開講座
2016/10/29 (大阪)
- 3 5 阿部 恵 肥満症へのアプローチ 第 26 回北野 B.B.DM フォーラム
2016/12/3 (大阪)
- 3 6 須川 琢、岡村絵美、本庶祥子、阿部 恵、河崎祐貴子、濱崎暁洋 ブレンツキ
シマブ投与を契機に顕著な高血糖をきたした悪性リンパ腫合併糖尿病の一例 第 11 回
糖尿病臨床フォーラム 2017/1/18 (大阪)
- 3 7 国吉あや 入院糖尿病患者の合併症と薬物療法の実態 第 25 回北野糖尿病合併
症と医療連携の会 2017/2/18 (大阪)
- 3 8 濱崎暁洋 長期のフォローを意識したこれからの糖尿病治療 扇町糖尿病フォ
ー 2017/2/22 (大阪)
- 3 9 本庶祥子 当院糖尿病患者における新規発症癌の検討～インクレチン関連薬の臨
床使用をふまえて～ 第 92 回京都内分泌同好会 2017/3/4 (京都)
- 4 0 木原圭梧、阿部 恵、本庶祥子、岡村絵美、河崎祐貴子、箸方宏州、西田南海子、
岩崎孝一、弓場吉哲、濱崎暁洋 成長ホルモン産生腺腫を伴った鞍内神経節細胞腫の一
例 第 92 回京都内分泌同好会 2017/3/4 (京都)

論文

- 1 Khotimah PH, Sugiyama Y, Yoshikawa M, Hamasaki A, Okamoto K,
Kuroda T. Revealing oral medication patterns from reconstructed long-term
medication history of type 2 diabetes. Conf Proc IEEE Eng Med Biol
Soc. 2016:5599-5603. 2016”
- 2 Kondo Y, Harada N, Hamasaki A, Kaneko S, Yasuda K, Ogawa E, Harashima S, Yoneda
H, Fujita Y, Kitano N, Nakamura Y, Matsuo F, Shinji M, Hinotsu S, Nakayama T, Inagaki
N; MAIKO Study group. Sitagliptin monotherapy has better effect on insulinogenic
index than glimepiride monotherapy in Japanese patients with type 2 diabetes
mellitus: a 52-week, multicenter, parallel-group randomized controlled trial.
Diabetol Metab Syndr. 8:15. 2016
- 3 濱崎暁洋 インクレチン作用の評価最新医学 第 71 巻(1) p60-72 2016
- 4 本庶祥子 見かけの鉱質コルチコイド過剰症候群 (AME 症候群) 小児科診療
79(suppl): p2702016
- 5 本庶祥子 睡眠無呼吸障害と糖代謝異常メディカルリハビリテーション 203:
p131-1362016